

平成22年3月24日

資料

第2次福岡市立高等学校活性化検討委員会（第2次会議）

第4回会議

<福岡女子高等学校の活性化について>

<福岡西陵高等学校の活性化について>

# 【福岡女子高等学校の改革の方向性について】

教育委員会事務局の考え方

①女子教育を推進する。  
②学科改編により活性化を図る。  
(普通科はコースを導入する, 家庭科は学科改編も含め, 柔軟な選択が可能となるようなシステムを構築する。)

改革の視点	具体的手立て(例)
市内唯一の公立女子校として, 中学生や市民から必要とされる学校づくりを目指す。 ①中学生(や保護者)の興味・関心・進路希望を念頭に置いた教育 ②女子校(共学ではない)にしかできない教育 ③福岡市の地の利, 充実した施設設備を活かした教育	①ガイダンス機能を充実させながら, 生徒の興味・関心に応じて選び, 高校卒業後の進路希望に対応できるコース制を導入する。 ②学校設定科目(女子高設定科目)を導入し, 施設設備を活かしながら, 特色を出す。(例: マナー教育, 家庭科の専門科目の普通科への導入, 伝統文化教育) ③女子教育とも絡めたキャリア教育の充実を図る。 ④企業・地域との連携, 高大連携の充実 など

【参 考 例】

普通科(160名)			ライフデザイン科(160名)			【現 在】		
1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
◆特進コース(20名)	◆特進コース	◆特進コース	◆調理師コース(40名)	◆調理師コース	◆調理師コース	普通科(各120名)		
◆国際コース(20名)	◆国際コース	◆国際コース	◇一般コース(120名)	◇一般コース	◇一般コース	国際教養科(各40名)		
◇一般コース(120名)	◇一般コース	◇一般コース		◇ファッションコース	◇ファッションコース	家庭学科		
				◇保育コース	◇保育コース	服飾デザイン科(各40名)		
				◇食物栄養コース	◇食物栄養コース	食物調理科(各40名)		
						保育福祉科(各40名)		
						生活情報科(各40名)		

※学科名・コース名は仮称

女子高改革のアイデア

<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数に対応できるカリキュラムの作成, 力のつく教育課程, 魅力ある教育課程の設定</li> <li>・行事の精選を含めた授業時間数の増加</li> <li>・卒業後の目標設定と進路指導の充実</li> <li>・恵まれた施設設備の利用(体育・家庭・芸術コースの設置, 家庭科4単位履修)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集停止</li> <li>・良い点を残したコース制による存続(進学コース, 英語コース, 英会話コース, 国際コース, 普通科との統合)</li> <li>・学科名変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での学校であることを認識する</li> <li>・コース制の導入, くくり募集の導入</li> <li>・2年次からの専門科目履修で上級学校に繋げる</li> <li>・進学コース(クラス)の設置, 食物系の大学進学クラス(栄養士コース)</li> <li>・入学後学ぶ中で個々の適正に合わせた専門へと進むカリキュラム</li> <li>・現在の総合選択科目を見直し, 学科を維持発展させる</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

普通科	国際教養科	家庭科
普通科の現状と課題	国際教養科の現状と課題	家庭科の現状と課題
【評価できる点】 【課題】 ・売りや特色目指す方向性が不明確 ・進路希望が多様にもかかわらず, その対応ができていない ・成績上位者を伸ばせていない ・学力格差 ・意欲の低さ ・普通職員間の連帯感の弱さ	【評価できる点】 ・色々な創意工夫が行われている ・第二外国語の設定がある(中国語, ハンガール) ・国際交流の実働を担っている ・学力の高い生徒が多い ・進学希望者も多い(4年制大学進学者が最も多い)	【評価できる点】 ・学力の高い生徒も多い ・女子高のウリは家庭科である ・施設設備が充実している
【課題】 ・何を学ぶのか, どんな力をつけたいかが不明瞭 ・特色が生徒の姿で示せてない ・アジアへの窓口の地の利が特色として出しきれてない ・アピールが十分でない ・入学希望の生徒・保護者の求めていることの分析がなされていない ・大学進学に対してのカリキュラムに問題がある。 ・指導が十分になされていない ・長所を十分に伸ばせてない ・専門学科としての教員配置がされてない。 ・取組が組織としてではなく, 個人で行われている ・入学希望者が定員に満たない ・時代の要求が徐々に変化している	【課題】 ・生活体験が乏しいため, 3年間でも足りない ・大学進学希望者に対して, カリキュラムに問題がある ・生徒のニーズが家庭科から離れている ・1クラス内の学力格差 ・家庭科の目指す進路が不明瞭(学んだ事と進路が結びつきにくい) ・食調以外は, 入学希望者が募集定員ぎりぎりの状態 ・専門を学ぶにあたって, 基礎学力が不足	

## 福岡女子高校の活性化について

### 1 全国の公立高校における男女別学校数（文部科学省学校基本調査より）

	H17	H18	H19	H20	H21	※分校も含む
男女	3,982 (97.6%)	3,949 (97.6%)	3,883 (97.7%)	3,824 (97.9%)	3,772 (98.1%)	
男のみ	27 (0.7%)	27 (0.7%)	32 (1.8%)	25 (0.5%)	23 (0.6%)	
女のみ	73 (1.8%)	69 (1.7%)	61 (1.5%)	57 (1.5%)	51 (1.3%)	
計	4,082	4,045	3,976	3,906	3,846	

※ 男子校あるいは女子校という分類ではなく、現実に在学している生徒の状況により分類

### 2 公立女子高校の設置状況について

県市名	H18現在の の学校数	共学化 の方針	方針の内容	H21現在の の学校数
秋田県	7	○	平成22年度までに共学化を開始又は具体化	4
宮城県	5(1)	○	平成22年度までに共学化	4(0)
栃木県	9	○	男女別学校については、共学化を推進	7
群馬県	12	○	統合や改編と関連させ、男女共学化を推進	9
埼玉県	7(1)	×	新設高校は共学化	7(0)
千葉県	3	○	原則として女子校を共学化	2
愛知県	1	○	学科改編に伴い、19年度から男女共学で募集開始	0
奈良県	1	○	統合に伴い、17年度から男女共学で募集開始	0
鹿児島県	1	×	検討中	1
福岡市	(1)	×	検討中	(1)
計	46(3)			34(1)

※( )内は政令指定都市立

### 3 国際教養科の設置の経緯について

平成2年3月 福岡市立高等学校教育の在り方について（最終報告）

#### 2 福岡女子高等学校の家庭科の在り方に関すること

##### (4)具体的な改善方策

##### ア. 学科の再編成及び適正規模

##### (ア) 学科の再編成

「…家庭生活に関する分野はもとより、情報化に関する分野や長寿化に関する分野、消費経済に関する分野、国際化に関する分野等を含めて学科編成及び学科名について幅広く検討することが望ましい。…」

平成3年11月 福岡市立福岡女子高等学校の在り方について

#### 1 福岡女子高等学校の今後の在り方について

##### (3)改善の基本的な考え方

##### イ. 福岡女子高等学校教育の在り方

「福岡市は九州の中核都市として経済、行政、情報、教育、文化などの広域的な機能を持ち、国際交流を活発に行うなど国際都市としての発展を図っている。福岡市基本構想の中で、時代の要請に応える地場産業の振興や国際化等

に対応した情報、サービス、デザイン・ファッションなど新しい都市型産業を基軸とした地域経済の確立と成長をめざすとしている。…」

(4)具体的な改善方策

ア. 学科の再編成

⑤新設学科

国際化時代を迎えて、国際的視野と豊かな国際感覚を養い、国際理解を深めるとともに、日本の伝統文化を重視し、外国語能力を身につけた人材の育成を図るため「国際教養科」を新設することが望ましい。

4 県内の英語科・英語コース等の概要

各学校ホームページ及び福岡県教育委員会ホームページより

	学校名	学科 (コース)	定員	所在地	開科 (コース) 年度	型(系)
1	北筑	英語科	40	北九州地区 (八幡西区)	H6	文系(3教科重点型) 文系(5教科重点型)
2	香住丘	英語科	40	福岡地区 (東区)	H6	国文系 私文系
3	久留米	英語科	40	筑後地区	H6	5教科型 3教科型
4	嘉穂東	英語科	40	筑豊地区	H6	国文 私文
5	小倉南	普通科 英語コース	20	北九州地区 (小倉南区)	H2	無
6	玄界	普通科 国際文化コース	40	福岡地区 (古賀市)	S62	国文型 私文型
7	大宰府	普通科 英語コース	40	福岡地区 (太宰府市)	S61	無
8	福岡女子	国際教養科	40	福岡地区 (西区)	H6	無

※県内公立高校において、7つの英語コースが募集停止となり、現在に至っている。

【参考】各学科・コースの違い

英語科	英語を理解し、英語で表現する能力を養い、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、言語や文化に対する関心を深め、国際理解を深めます。英語に関するより専門性の高い指導を行い、国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。「総合英語」「英語理解」「英語表現」「異文化理解」「生活英語」「時事英語」「コンピュータ・LL演習」などを学びます。これらは、普通科の外国語(英語)の内容を更に専門的に学習する科目です。
英語コース	一般の英語の科目の他に「英語表現」「異文化理解」等の専門科目を学習し、英語の「聞く、話す」力を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。
国際文化コース	一般の英語の科目の他に「英語表現」などで英語でのコミュニケーション能力を身に付けるとともに、国際理解を深めます。また、「中国語」も学べます。

## 5 県内の家庭に関する学科の概要

衣・食・住などを中心とした家庭の各分野に関する生活関連産業で活躍するために必要な知識と技術を習得し、また、地域の生活にも目を向けて広く社会との関連において、家庭や社会生活の充実向上を図ることのできる人材を育成します。

各学校ホームページ及び福岡県教育委員会ホームページより

	学校名	学科名	改編年度	定員	前身学科	所在地	型(コース)等	選択制
1	行橋	生活デザイン科	H15	80	生活文化科(生活科)	北九州地区		
2	折尾	生活デザイン科	H15	80	家政科	北九州地区	2年より ファッション フード 保育福祉	3年2時間 国語 英語 簿記 住居
3	香椎	服飾デザイン	H3	40	被服科	福岡地区(東区)	無	無
4	福岡農業	生活デザイン科	H15	40	生活文化科(生活科)	福岡地区(太宰府市)	3年より 食物 被服	2年2時間 英語 簿記 3年4時間 数学 情報 英語 農業
5	久留米筑水	食物調理科	H6	40	生活科	筑後地区	無	3年2時間 国語 英語 農業 調理
6	福島	生活デザイン科	H15	40	生活文化科(被服科)	筑後地区	2年より I II	無
7	筑豊	生活デザイン科	H15	40	家政科	筑豊地区	無	3年4時間 被服製作 食物調理 保育・住居
8	東鷹	総合生活科	H6	80	被服科	筑豊地区	2年より 食物 服飾デザイン 福祉	無
9	福岡女子	服飾デザイン科	H6	40	被服科	福岡地区(西区)	無	2, 3年に 総合選択
		食物調理科		40	食物科		無	無
		保育福祉科		40	保育科		無	2, 3年に 総合選択
		生活情報科		40	家政科		無	2, 3年に 総合選択

## (参考) 各学科の特色

生活デザイン科	新時代のライフスタイルに合わせて豊かな生活を送ることができるよう、家庭に関する幅広い分野の学習をします。
総合生活科	家庭に関する基礎的な知識と技術を学習するとともに、食物系、服飾デザイン、保育系の特徴を生かした専門科目も学習します。
服飾デザイン科	服飾デザインや被服製作(洋服・和服)などに関する専門的な知識と技術を学習します。
食物調理科	献立と調理、集団給食など食物に関する専門的な知識と技術を学び、卒業と同時に「調理師免許証」が与えられます。

## 6 総合選択制について

### 平成3年11月 福岡市立福岡女子高等学校の在り方について

#### 1 福岡女子高等学校の今後の在り方について

##### (4) 具体的な改善方策

##### ウ. 総合選択制の導入

総合選択とは、学科の枠を超えて自由に科目を選択する教育課程を編成することにより、多様な志向を示す生徒一人一人が、それぞれの興味・関心・能力・適正・進路等に合わせて履修できる科目を設けることである。

総合選択制の導入は、専門性、進学への対応や、生涯学習をも展望した幅広い学習への対応を考慮して

①所属学科の特色を生かした専門科目を選択することによって専門性をより深める。

②自己の進路や興味・関心などに応じて所属学科以外の科目を幅広く選択する。

③進学希望者は普通教科の科目だけを選択履修する。

など、選択の幅を広め、生徒の多様なニーズに応えるものである。

当面、福岡女子高等学校においては、服飾デザイン科、保育福祉科、生活情報科、国際教養科の4学科に導入することが望ましい。

なお、食物調理科については、調理師の資格取得の関係で法改正をまって実施する必要がある。

(参考) 家庭科における総合選択の現状 ※アンダーラインは今年度成立している科目

2年生(2時間): (英語演習, 文書デザイン, 商業技術, デザイン構成, 和服製作, フードデザイン, 福祉) の中から1科目選択

3年生(2時間): (政治・経済, 数学演習, 生物演習, 化学演習, 英語演習, 簿記, 文書デザイン, デザイン構成, 保育, ライフスタイル) の中から1科目選択

(参考) 国際教養科・普通科における総合選択の現状

3年生(3時間): (古典演習, 世界史演習, 日本史演習, 地理演習, 生物演習, 化学演習, 政治・経済, 文書デザイン, 商業技術, フードデザイン) の中から1科目選択

(参考) 普通科における総合選択の現状

3年生(3時間): (政治経済演習, 数学演習, 芸術Ⅲ, 英語演習, LL-CAI演習, 情報C, 簿記, ファッション構成) の中から1科目選択

### 地域と共に歩む食物調理科 community

#### ■ 研修施設「まごの店」多気町五桂池ふるさと村

- ふるさと村・多気町・相可高校が協力し合い
  - ①地元食材を活用することで地産地消の活動を促める。
  - ②ふるさと村から地産に、明るくユニークで元気な経験を提供する。
  - ③相可高校食物調理科として、学校では経験のできない実習の場として活用する。
  - ④多気町の地元産物である相可高校生の活躍の場や地元住民との交流・関係強化の場として活用する。
- このようにふるさと村を目的にこの「まごの店」は運営をはじめました。・・・私たちは相可高校食物調理科が心を込めてつくります。製菓コースの授業「製菓研究」で、「まごの店スイーツ」として販売実習をしています。



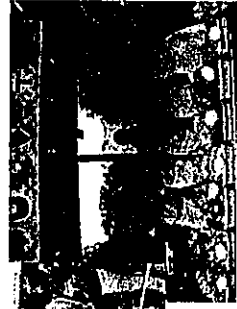
#### ■ 地域の食育ネットワーク

地域の保育園や小学校と、子どもたちが育てた食材を使った料理や製菓実習、茶会開催を通して、「食育」の大切さを子どもたちにも伝えるに貢献します。中学校や園内の高校、大学生とも交流開催を行います。地域の「食」フォーラムにも参加します。外国の人たちとも、食文化を通じて国際交流をします。



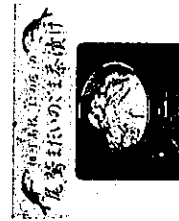
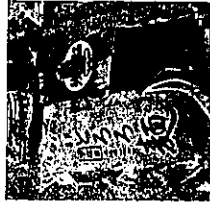
#### ■ 料理・製菓教室の開催

地域の食文化の継承と高校生への食育を推進するために、地域の食材を使った料理や製菓実習、茶会開催など、地域の活性化を目指した講座を開催しています。地元多気町・大台町などの公民館調理教室、JA松阪・道の駅物産館多気では定期的に開催され、また、「高校生が授業します！食育教室」を本校で開催したりします。

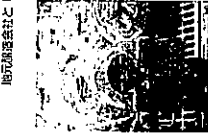


### 産学協同 collaboration

#### ■ 商品開発



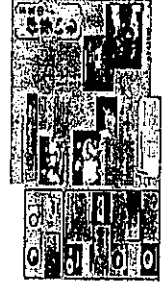
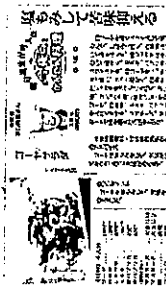
多気町・製菓社と「伊勢いなり」とコラボ



製菓協同社と「伊勢いなり」(じりもんブラン)

地元産物と「伊勢いなり」(じりもんブラン)

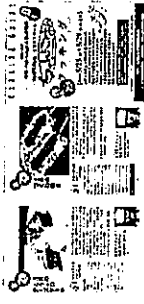
#### ■ レシピの提案



地元産物に合う加工品

地元産物と「伊勢いなり」を合わせた和風レシピパンフレットより

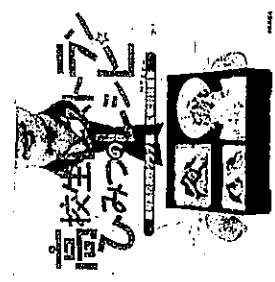
地元産物と「伊勢いなり」を合わせた和風レシピパンフレットより



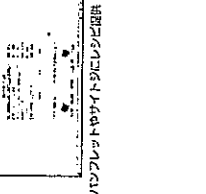
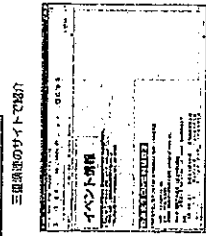
地元産物に合う加工品

地元産物と「伊勢いなり」を合わせた和風レシピパンフレットより

地元産物と「伊勢いなり」を合わせた和風レシピパンフレットより



三田産物のサイト紹介



内容、地の情報誌「和風レシピ」のサイトで紹介

地元産物と「伊勢いなり」を合わせた和風レシピパンフレットより

# 地域に愛されるスペシャリストの育成を目指して

佐賀県立牛津高等学校

標に掲げている。

① 家庭科の基礎的・基本的な知識・技術の習得を図る

② 起業家マインドの育成を図る

③ 職業人としての常識とマナーを身に付けさせる

④ 学科の専門性を生かした進路を実現する

⑤ 地域との連携を図る

⑥ 指導者の指導力の向上を図る

特に、専門的な知識・技術を確実に身に付けさせることには全学科で力を入れており、日々の授業や放課後に指導、大学や企業等と連携した専門家による講義や実習を充実させ、様々な資格取得や各種検定の合格はもちろんのこと、全国レベルのコンクールやコンテストで技術力や創造力を発揮できるように徹底した指導を行っている。

また、本校では平成18年度より、家庭科の学校設定科目「起業家入門Ⅰ」（2年次）及び「起業家入門Ⅱ」（3年次）を開設している。これらの科目は、専門的な学習の導入科目「生活産業基礎」の上に積み上げるもので、選択科目として設置しており、これからのスペシャリストに求められる発想力・企画力・論理的思考力・IT活用能力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力等の育成を図ることを目標としている。

1. はじめに

本校は、生活経営科（2年次より生活科学類型と生活福祉類型に分かれる）、服飾デザイン科、食品調理科（食品栄養コース・調理師コース）を設置する家庭科の専門高校であり、衣生活・食生活・ヒューマンサービス等に関する知識・技術を身に付けるとともに、職業人としての心構えを学ぶといった、高い目標をもちながら学習を行っている。

平成17年度からは文部科学省の「目指せスペシャリスト」研究開発指定を受け、従来行ってきた本校の教育を「起業家マインド育成」という新たな視点から見直し、将来、地域に貢献する生活関連産業のスペシャリストを育成する研究を行ってきた。研究は平成19年度に終了したが、その後引き続き創造力や企画力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力等の育成に学校全体で取り組んでいる。

2. 専門的な知識・技術の確実な定着と起業家マインドの育成

家庭科教育においては、次の6点を教育目標

12 産業と教育 (H21) 8月号

## 3. 「起業家入門Ⅰ・Ⅱ」の学習内容

2年次の「起業家入門Ⅰ」では、地域の企業で活躍されている方々にお越しいただき、マーケティングの方法（情報収集の演習）や効果的なプレゼンテーションの方法、コミュニケーションのとおり方、アイデア創出のトレーニングなど、講義や演習を中心にした学習を行っている。専門家による講義・演習の後には、生活産業に関するキーワードをもとにした商品企画の練習を行い、地域の方々へ発表する機会を設けている。

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

「起業家入門Ⅰ」

「起業家入門Ⅱ」

## 4. 「生活産業基礎」での取組

一服飾デザイン科の場合一

生徒の「将来は、生活産業で活躍するスペシャリストになりたい」という意識を高めるためには、1年次に履修している科目「生活産業基礎」の充実も欠かせない。ここでは、服飾デザイン科の取組を紹介し、地域に深くかかわった体験的学習を通して育成する発想力・企画力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力について考えてみたい。

科目の年間指導計画を次頁に簡単に示した。アパレル産業の様々な仕事について、体験活動を通して理解させる学習を多く取り入れている。特に力を入れているのはアパレル商品の企画体験で（下図参照）、これは、アパレル産業の特徴や関連する職業を、具体的な作業を行いながら理解を深めさせようというねらいがある。今年で7年目の取組で、2年前からは、商品企画の題材を佐賀県内の施設（主に県立施設）のユニフォームとし、1

商品企画アイデア抽出の課題  
おしいと企画です。どんなものを企画したいですか？具体的に、図案を取り組みをしましょう！

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 「みんなのおおきな」は思っていることを出す  
② 誰かを助ける  
③ 商品コンセプトを決定  
④ コンテナーのキーを見せつける  
⑤ キーボードにあった商品を決める  
⑥ 女性服のデザイン  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品開発の発表  
⑨ 開発コスト  
⑩ テーブルの操作性  
⑪ 生産・展示販売  
⑫ サンプルの作成  
⑬ 展示会  
⑭ 販売  
⑮ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産

① 基本コンセプトシート  
② 製品、商品の分類  
③ テーブルと図案  
④ 既製品のアプローチ  
⑤ テーブルのウォード  
⑥ 「既」商品の決定  
⑦ 商品企画の理由・背景  
⑧ 商品のデザインイメージ  
⑨ 商品の製作  
⑩ 商品開発の発表  
⑪ 開発コスト  
⑫ テーブルの操作性  
⑬ 生産・展示販売  
⑭ サンプルの作成  
⑮ 展示会  
⑯ 販売  
⑰ 商品の生産



班3～5人で企画・作品製作等を行っている。これらの学習では、グループワークによる商品企画で、創造力や発想力・企画力・コミュニケーション能力の育成、企画した商品の発表会でプレゼンテーション能力の育成が期待できると考え、指導に当たっている。

学習のスタートは、夏季休業中に行う施設

月	単 位	単 位 内 容	配 時
1	(1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
4	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
5	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
6	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
7	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
8	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
9	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
10	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
11	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6
12	1)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	2)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	3)	生活産業基礎(学生が担当)	6
	4)	生活産業基礎(学生が担当)	6

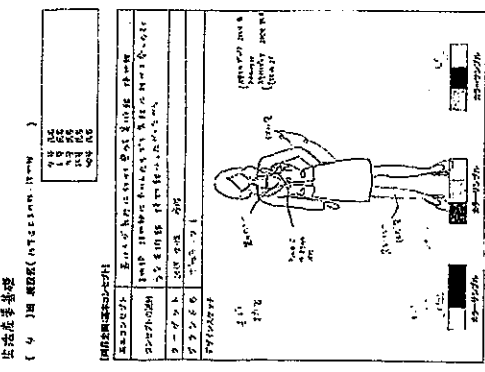
リサーチである。調査を効果的に行うためには、自分たちの考えや思いをどう相手に伝えるのか、どのような問いかけをすれば、商品企画の参考になる具体的な答えを引き出せるのかなど、事前に質問内容をしっかり検討しなければならない。このような経験の少ない生徒にはかなりの苦労だったようだが、施設の方々から得た生の声の商品企画する上ではとても重要だと気付き、「できるだけ多くの要望を表現した作品をつくろう」「できあがった制服は、ぜひ見てもらいたい」という作品製作・発表への意欲向上へ繋がっていった。

また、商品企画からサンプル製作という一連の学習活動では、生徒が様々なアイデアを出せることも大事だが、そのアイデアを服という形にし、美しく縫い上げることができなくてはならない。そこで、科目「被服製作」及び「ファッションデザイン」の学習とリンクさせ、縫製の基礎技術を徹底的に指導した上で作品製作に入り、商品として価値の高い服をつくることを目指した。この目標に到達するために、グループ内での共通理解が大変重要になってくる。本学科の生徒たちは、自分の考えを人に伝えることを苦手とする傾向にあり、最初のうちは戸惑いもみられたが、話し合いを繰り返しながら多くの課題を解決していき、最後には冬期休業中のほとんどの時間を製作に費やすほど、「美しい作品づくり」に対する意欲は日々高まっていった。

完成した作品は、広く県民に披露してほし



商品企画の例



いという要望もあり、佐賀県庁舎内のホールでファッションショーによる学習発表会を行った。コンピュータを活用して資料を作成し、ウォーキングの練習を重ね、1年生ながら大勢の人の前でプレゼンテーションを成功させたことは、生徒たちに大きな充実感と自信をもたせる大変よい機会となった。



5. さらなる家庭科教育の充実を目指して  
今回は、服飾デザイン科の学習活動について

て紹介したが、生活経営科・食品調理科でもそれぞれの特色を生かしながら起業家マインドの育成に取り組んでいる。各学科の様々な取組を通して感じるのは、話し合いながら課題解決をしていく場面を、学習活動の中に設定することの必要性である。人の意見を聞き、それを取り入れながら自分の意見をまとめて説明し、協力しながら解決方法を探っていく。これらの活動をうまく取り入れることで、専門的な学習をさらに深めることができる。

また、地域との触れ合いの中から得るものも大きい。今回紹介した学習では、地域の人々を消費者としてとらえ、コミュニケーションを通してそのニーズを的確につかみ、家庭科で学ぶ生徒ならではの発想と知識と技術で、新しい商品を創り出していった。これこそ、これからの生活産業で活躍するスペシャリストに求められる大切な能力ではないだろうか。ここ数年、地域の行事やボランティア活動、地域開催のコンテスト等への参加依頼など、様々な協力を求められることが多くなってきた。本校の生徒たちに、スペシャリストの卵としての能力が徐々に身に付き、それが地域に認められた結果であると確信している。

高校生のフレッシュな感性や豊かな発想、発想とした行動力は地域の活性化に欠かせない。個性あふれる発想力をともに楽しみながらものづくりができ、そして、様々な表現方法でそれらを発信できることは、家庭科で学ぶ生徒がもつ大きな力である。この力をますます伸ばしていけるよう、地域とのコミュニケーションを今まで以上に深め、生徒が生き生きと活躍できる場を広げていきたい。

## 新潟県立高田商業高等学校

〒943-8550 新潟県上越市中田原90-1

電話：025-523-2271 FAX：025-526-8878

H・Pアドレス：<http://www.takadash.h.nein.ed.jp>

### 学校概要

高田商業高等学校は、大正5年に設立され、創立93周年の歴史を迎える上越地域で唯一の商業高校です。キャリア教育の充実・発展に力を入れて取り組んでおり、平成18年度からは、上越市内の大町小学校・城北中学校・上越教育大学との校種間連携を実現させ、全国から注目される活動に発展しました。この取組が高く評価され、平成18年11月25日に「キャリア教育の充実発展」における文部科学大臣賞を受賞いたしました。

◇製品名：『ヤーコンどら焼き』

◇製造学科：総合ビジネス科

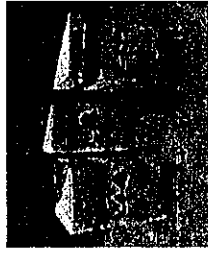
◇特徴：地元で収穫されるキク科の根菜類であるヤーコンを、生地に練り込みました。ヤーコンには、オリゴ糖が豊富に含まれ、生活習慣病にも効果があるとされています。粉末状にしたヤーコン独特の苦味と、あんこの甘みが絶妙なバランスを醸し出しています。



◇製品名：『オリジナルケーキ』

◇製造学科：総合ビジネス科

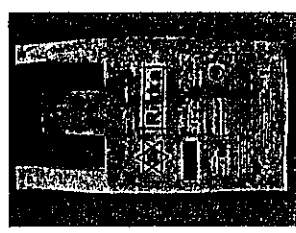
◇特徴：城北中学校1年生の生徒が考案したアイデアを、米粉を使用したケーキ作りで人気のあるケーキ店と協力し、期間限定で販売したオリジナル商品です。中学生のアイデアが、プロフェッショナルの技により、実際の商品として製造され販売されることで、学校とビジネスの世界が一步近づきました。



◇製品名：『オリジナルエコレジ袋』

◇製造学科：総合ビジネス科

◇特徴：上越市では、平成20年度から、古米を原料にした「バイオマスプラスチック」を利用した有料ゴミ袋が導入されています。このゴミ袋を製造している会社と連携し、オリジナルのエコレジ袋を作成しました。匂いをかぐとほのかに米の香ばしい匂いがして、普通のビニール袋よりも強度が強く、またゴミを入れて焼却する際に、ポリエチレン製のレジ袋に比べてCO<sub>2</sub>を30%削減することができ、地域の企業6社から協賛金をいただき、オリジナルのエコレジ袋を完成させることができました。



【お知らせ】紹介した製品は、生徒が年間学習計画に沿って製造しますので、個数や時期等が限定されますが購入可能なものもあります。学校までお問い合わせください。

## ■ 専門高校生によるブランド品の紹介広場 ■

我が国の将来を担うこととなる専門高校生が、学習の一環として製作・開発した質の高い成果物やアイデアに含む製品を紹介いたします。販売目的ではありませんが、購入が可能なものもあります。

### 静岡県立御殿場高等学校

〒412-0028 静岡県御殿場市御殿場 419-2

電話：0550-82-0111 FAX:0550-83-3154

<http://www.shizuoka-c.ed.jp/gotemba-h/>

### 学校概要

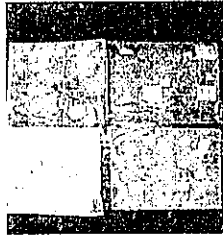
本年度で創立107年になる、工業（情報システム科）、商業（情報ビジネス科）、家庭（情報デザイン科）の3学科からなる専門高校です。在校生の男女比はほぼ均等で、地域に支えられ、地域に貢献する高校です。

情報デザイン科にはヒューマンサービスコースとデザインコースとがあり、学習の一環として、いろいろなデザインや、食物・被服等の実習を行うとともに製品開発も行っています。

○製品名：「染色ハンカチ 草木染めハンドタオル」

○製造学科：情報デザイン科（デザインコース）

○特徴：オリジナルデザインによる、型染め、絞り染めのハンカチです。多色染めや、グラデーションのほか、花風の絞り染めもあります。草木染めハンドタオルは校庭のケヤキの葉で染め、グレー・ベージュ・茶色の単色と、絞り染めがあります。



○製品名：「御高コロッケ」

○製造学科：情報デザイン科（ヒューマンサービスコース）

○特徴：地産地消と「おいしい」がコンセプトのコロッケです。地元のじゃがいも、豚肉、玉ねぎ、卵を使ったコロッケです。文化祭御高ショップの人気商品で、行列ができてあつあつという間に完売でした。



○製品名：「柚ゼリー」

○製造学科：情報デザイン科（ヒューマンサービスコース）

○特徴：柚からつくる香り高いゼリーです。安心できる材料から作る、柚の風味いっぱいの季節のゼリーです。毎年行われる文化祭では人気商品です。



# 福岡西陵高等学校の改革の方向性について:特進コース等の設置

## 現行の類型(平成22年度)

1年	共通					
	☆	☆				
2年	文系			理系		
	☆			☆		
3年	文A		文B	理系		

※ ☆印は習熟度上位クラス(成績及び生徒希望による編成)  
国公立大学等難関大学志望者対象

※ 文系・理系等,クラス数は年度により異なる

※ 文A:国公立文系(看護医療系を含む)

文B:私立文系(専門学校を含む)

理系:国公立理系・私立理系

※ 県立高校普通科もほぼ同様の類型による教育課程

## 習熟度別授業の展開について(現状)

a1	
b1	b2

※ 2クラスを3分割

a1:成績上位層

b1:成績下位層

b2:成績下位層

※ 1年次 : 数学Ⅰ・英語Ⅰ

2年次 : 数学Ⅱ・ライティング(英語)

3年次 : 数学Ⅲ・数学C

←全クラス

←全クラス

←理系のみ

## 習熟度別学級編成・習熟度別授業の課題

- ・授業の進度及び授業内容(現状では明確な区別が付けにくい)
- ・評価の在り方

## 《参考例》

1年	一般コース			特進コース
	共通			共通
2年	文系		理系	特進コース
				文系 理系
3年	医療系	私文系	理系	特進コース
				文系 理系

※ 「特進コース」:40~80名

「一般コース」:280~240名

※ 「特進コース」:

・国公立大学進学に特化した教育課程編成

・専門学科の教科「理数」「英語」の科目や課題研究等を履修することにより,事象を探究する課程を通して理解を深め,表現する能力と態度を育て,創造的な能力を高める

## 教育課程外における取り組み

- ・朝の課外補習(7:40~8:30) 1・2年生は全員受講 3年生は進路別・講座制による受講
- ・放課後の補習(16:00~17:30) 2年生は2学期から,科目選択による受講, 3年生は進路別・講座制による受講(通年)
- ・長期休業中の補習
  - 夏休み 前期(7日間) 1・2年:全員受講 3年:進路別・講座制による受講
  - 中期(7日間) 3年:進路別・講座制による受講
  - 後期(7日間) 1・2年:全員受講 3年:進路別・講座制による受講
  - 冬休み 5日間 1・2年:全員受講 3年:進路別・講座制による受講
- ・土曜講座 科目別講座,自学自習を含め,隔週で実施(希望者,年間13回程度)
- ・全国模擬試験,小論文模試の実施
- ・大学における出前授業の受講(2年生)

## 他都道府県等の状況

東京都	平成13年度～
	<p>進学指導重点校 難関大学を目指す (7校) (日比谷・戸山・西・八王子東・青山・立川・国立)</p> <p>進学指導特別推進校 難関大学を中心とした進学実績の向上を目指す学校 (5校) (小山台・駒場・新宿・町田・国分寺)</p> <p>支援策 (1) 進学指導を重視した教育課程の編成 (2) 公募制による指導力のある教員の配置 (3) 進学指導のための授業力向上研修 (4) 進学指導の充実に向けた取組状況と成果の都民へのPR (5) その他進学指導の充実に必要な措置(人的支援・研究協議会)</p>

大阪府	平成23年度～
	<p>進学指導特色校 生徒のニーズ・保護者、府民の進学指導の充実を求める声に応えるため、府立高校特色づくりの一環として、文系・理系ともに対応した進学指導に特色を置いた専門学科を設置 (10校) (北野・豊中・茨木・大手前・四條・高津・天王寺・生野・三国丘・岸和田)</p> <p>専門学科: 文理学科, 教科横断的・探求的な教科・科目の設定 「志」学, 総合的な学習の時間: 情報収集力・社会貢献意識・人権意識の育成 土曜の有効活用・10校合同のオリエンテーションや勉強合宿の実施 10校ネットワーク: 「進路支援システム」の活用や体験的な進路学習の実施 10校間での授業の相互交流を含めた研究授業の実施 生徒による授業評価の実施 …… 等</p>

京都市	洛陽工業高校	「ものづくり都市・京都」の未来を切り拓く若者の育成 平成15年「目指せスペシャリスト」指定校
	伏見工業高校	「ものづくり都市・京都」の未来を切り拓く若者の育成 平成18年「目指せスペシャリスト」指定校
	平成17年10月「京都市立工業改革・支援プロジェクト」 →平成19年4月 両校全日制では既存の専門学科を1学科に統合し、2年次から生徒の希望や将来の進路目標に応じて選択が可能な特色ある専攻コースを設置	
	西京高校	平成15年 専門学科「エンタープライジング科(未来社会創造学科)」を開設 「ジュニア・アチーブメント」実施 平成16年「西京高校附属中学校」を開校し、併設型中高一貫教育を導入
	銅駝美術工芸高校	平成16年度 8つの小学科を「美術工芸科」1科に学科改編 基礎学力及び実技力の確実な定着・伸長、生徒の学習意欲や将来の進路希望に応じた多様な科目・コースの選択
	堀川高校	市立高校改革のパイロット校 平成11年 大学での高度な専門研究に向けた基礎能力を培う新しいタイプの専門学科「人間探究科」「自然探究科」を開設
	音楽高校	平成9年 堀川高校音楽科から音楽科単独専門高校「音楽高校」として、独立開校。 平成22年 移転予定。学校施設に音楽ホール、京都市立芸術大学のサテライト施設、開放型ギャラリー、などを併設する多目的な複合施設として、文化首都・京都にふさわしい音楽・美術活動の中核施設を目指す
	日吉ヶ丘高校	平成21年 「英語科」を新学科「国際コミュニケーション科」に改編 英語教育のを発展、第2外国語の充実、日本語運用能力、論理的・数学的思考力を磨く「自律力」と「自立力」を身に付けるための「メタセコイアプラン」 文部科学省「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の指定(19～21年度)
	紫野高校	平成19年 「英文系」→「グローバルコース」として発展。同英文系に「サイエンスコース」を新設: 優れた語学力を持ち、世界を舞台に科学技術や医療など幅広い分野で活躍する人材の育成を目指す
	塔南高校	平成19年 教員養成の専門学科「教育みらい科」を創設

北九州市 北九州市立高校 平成19年 北九州市立戸畑商業高校が前身。  
普通科2クラス, 情報ビジネス科4クラスを新設。 生徒寮(あさあけ寮)

学科	1年	2年	3年	H19倍率 (推薦)	H20倍率 (推薦)	H21倍率 (推薦)	H22倍率 (推薦)
普通科	共通	Aコース(文系)	Aコース(国公立・私立文系大学)	1.76	1.93	1.76	1.75
		Bコース(理系)	Bコース(看護・医療・理系大学)	(1.69)	(1.36)	(2.58)	(1.21)
情報ビジネス科	ビジネスコース			1.54	1.21	0.99	0.98
	情報コース			(1.72)	(1.28)	(1.17)	(1.03)
				1.41	0.99	1.18	1.06
				(2.19)	(1.44)	(1.31)	(1.22)

古賀市 古賀竟成館高校 平成21年 古賀高校が前身。  
普通科に「特進コース(20名)」「ベーシックデザインコース(20名)」を新設。

学科	1年	2年	3年	H19倍率 (推薦)	H20倍率 (推薦)	H21倍率 (推薦)	H22倍率 (推薦)
普通科	特進コース			****	****	7.25 (0.25)	7.15 (0.00)
	ベーシックデザインコース			****	****	1.00 (0.25)	0.90 (0.33)
	普通コース			3.74 (0.95)	4.25 (1.00)	4.03 (0.47)	4.35 (0.47)
総合ビジネス科	共通	会計ビジネスコース		2.44	2.59	3.03	3.16
		マーケティングコース		(1.08)	(1.00)	(1.63)	(1.00)

《福岡西陵》

学科	1年	2年	3年	H19倍率 (推薦)	H20倍率 (推薦)	H21倍率 (推薦)	H22倍率 (推薦)
普通科	共通	文系	文A(国公立大学・看護医療系)	1.47	1.74	1.63	1.57
			文B(私立文系大学・専門学校)				
		理系	理系(国公立・私立理系大学)				